

対象校No.

注4

学校コード F117310105451

注3

設置年度

令和

7年度

計画の区分： 学部の学科の設置

注1

届出

注2

金沢星稜大学

人文学部

国際英語学科

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書
(改正後大学設置基準適用)

学校法人稲置学園
令和7年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名

庶務課

職名・氏名

フクキョクチヨウヤマヒロユキ
副局長・小山裕之

電話番号

076-253-3924 (内線: 1010)

(夜間)

なし

e-mail

shomu@seiryu-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称: ◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・大学の設置の場合: 「〇〇大学」

・学部の設置の場合: 「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合: 「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合: 「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院設置の場合: 「〇〇大学大学院」

・大学院の研究科の設置の場合: 「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・大学院の研究科の専攻の設置等の場合: 「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」

・通信教育課程の開設の場合: 「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

4 対象校No.については、「【別紙】令和7年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、
該当番号を記載してください。

目次

人文学部

＜国際英語学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	15
4. 既設大学等の状況	16
5. 教育研究実施組織の状況	17
6. 附帯事項等に対する履行状況等	42
7. その他全般的事項	44

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人稲置学園

(2) 大 学 名

金沢星稜大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒920-8620

石川県金沢市御所町丑10番地1

(注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。

・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(イナオキ シンヤ) 稲置慎也 (平成26年4月)	(カシミ ユミコ) 樫見 由美子 (令和6年6月)	前任者の任期満了に伴う 理事長への就任 (7)
学 長	(オオクボ ヒデアキ) 大久保英哲 (令和4年4月)		
学 部 長	(キクチ ヨシアキ) 菊池嘉晃 (令和7年4月)		
学科長等	(マエダ マサヒロ) 前田昌寛 (令和7年4月)		

(注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を

()書きで記入してください。

(例) 令和6年度に報告する内容 → (6)

令和7年度に報告する内容 → (7)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注)・当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
 - ・様式は、令和2年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合（令和7年度までの6年間）ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
 - ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「留学」の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の 名称（学位）	学位又は学科 の分野	設 置 時 の 計 画				学生募集の停 止について	備 考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
人文学部 国際英語学科 学士（人文学）	文学関係	4 年	30 人	2年次 0 人 3年次 0 人 4年次 0 人	120 人		

- (注)・定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 - ・「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）又は（その2の2））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
 - ・学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和○年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。（学生募集停止を予定していない場合は「－」を選択。）

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区 分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		春季入学以外の 学期区分につい て	収容定員 充 足 率	収容定員 充 足 率 （控除後）	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	一人 一人 （－） [－]	一人 一人 （－） [－]	一人 一人 （－） [－]	一人 一人 （－） [－]	一人 一人 （－） [－]	一人 一人 （－） [－]	一人 一人 （－） [－]	一人 一人 （－） [－]	一人 一人 （－） [－]	一人 一人 （－） [－]	30人 一人 30 （－） [－]	一人 一人 （－） [－]	－			
志願者数	一人 一人 （－） [－]	一人 一人 （－） [－]	一人 一人 （－） [－]	一人 一人 （－） [－]	一人 一人 （－） [－]	一人 一人 （－） [－]	一人 一人 （－） [－]	一人 一人 （－） [－]	一人 一人 （－） [－]	一人 一人 （－） [－]	138 （－） [－]	一人 一人 （－） [－]		1.10倍		
受験者数	一人 一人 （－） [－]	一人 一人 （－） [－]	一人 一人 （－） [－]	一人 一人 （－） [－]	一人 一人 （－） [－]	一人 一人 （－） [－]	一人 一人 （－） [－]	一人 一人 （－） [－]	一人 一人 （－） [－]	一人 一人 （－） [－]	137 （－） [－]	一人 一人 （－） [－]			一倍	
合格者数	一人 一人 （－） [－]	一人 一人 （－） [－]	一人 一人 （－） [－]	一人 一人 （－） [－]	一人 一人 （－） [－]	一人 一人 （－） [－]	一人 一人 （－） [－]	一人 一人 （－） [－]	一人 一人 （－） [－]	一人 一人 （－） [－]	133 （－） [－]	一人 一人 （－） [－]				
B 入学者数	一人 一人 （－） [－]	一人 一人 （－） [－]	一人 一人 （－） [－]	一人 一人 （－） [－]	一人 一人 （－） [－]	一人 一人 （－） [－]	一人 一人 （－） [－]	一人 一人 （－） [－]	一人 一人 （－） [－]	一人 一人 （－） [－]	33 （－） [－]	一人 一人 （－） [－]				
入学定員超過率 B/A	－		－		－		－		－		33					

- (注)・報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「－」を記入してください。
 - ・（ ）内には、編入学の状況について**外数で記入**してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(())書きとすると、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「－」を記入してください。
 - ・転入学生は記入しないでください。
 - ・[]内には、留学生の状況について**内数で記入**してください。該当がない年度には「－」を記入してください。
 - ・学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。
 - ・「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 - ・報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択するとともに、下欄に、入学時期と入学定員の内訳（予定を含む）を記載してください。（春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「－」を選択。）
 - ・「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和8年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
 - ・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「－」としてください。
 - ・「(5) -② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	33 [—] (—)	— [—] (—)	
2 年次			— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	
3 年次					— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	
4 年次							— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	
計	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	33 [—] (—)	— [—] (—)	

(注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・ []内には、留学生の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。
- ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区 分 対象年度	在学者数 (b)	退学者数 (a)	内 訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和2年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
令和4年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
令和5年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
令和6年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
			令和6年度	- 人	- 人	
令和7年度	33 人	0 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
			令和6年度	- 人	- 人	
			令和7年度	0 人	0 人	
合 計		0 人		0 人	0 人	

(注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。
- ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生、転科生も含めて記入してください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「修学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例) ・修学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\text{\#VALUE!}} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\text{\#VALUE!}} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\text{\#VALUE!}} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\text{\#VALUE!}} = \boxed{-} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\text{\#VALUE!}} = \boxed{-} \%$$

【令和7年度】

$$\frac{\text{令和7年度の退学者数(a)}}{\text{令和7年度の在学者数(a+b)}} = \frac{0}{33} = \boxed{0} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

＜人文学部 国際英語学科＞

(1) ー① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	主 要 授 業 科 目	単位数			基幹教員等の配置						
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	以 基 幹 教 員 の 数 を 除 く 手 を 加 え た 数	以 基 幹 教 員 の 数 を 除 く 手 を 加 え た 数
共通 教育 科目	教養ゼミナールA	1①	○	1								6	
	教養ゼミナールB	1②	○	1								6	
	情報リテラシーⅠ	1①②	○	1								8	
	MDASHリテラシーⅠ	1①③	○	1								5	
	MDASHリテラシーⅡ	1②④	○	1								5	
	小計(5科目)	—	—	5	0	0	0	0	0	0	0	14	
	教養の門	1①		1			1					8	
	教養の世界	3②		1			1					8	
	教養ラボ	3③		1			1					8	
	総合領域A	1①		1								1	
	総合領域B	1②		1								1	
	総合領域C	1④		1								1	
	情報リテラシーⅡ	1③④		1								8	
	情報学Ⅰ	1①③		1								1	
	情報学ⅡA	1②		1								1	
	情報学ⅡB	1④		1								1	
	哲学Ⅰ	1①③		1								1	
	哲学Ⅱ	1②④		1								1	
	哲学Ⅲ	1③		1								1	
	論理学Ⅰ	1①③		1								2	
	論理学Ⅱ	1②④		1								追加	
	心理学Ⅰ	1①③		1								1	
	心理学Ⅱ	1②④		1								1	
	心理学Ⅲ	1③		1								1	
	倫理学Ⅰ	1①③		1								1	
	倫理学Ⅱ	1②④		1								1	
	倫理学Ⅲ	1③		1								1	
	宗教学Ⅰ	1①③		1								2	
	宗教学Ⅱ	1②④		1								2	
	歴史学Ⅰ	1①③		1								2	
	歴史学Ⅱ	1②④		1								2	
	人文地理学Ⅰ	1①③		1								2	
	人文地理学Ⅱ	1②④		1								2	
	海外の文化と社会Ⅰ	1①		1								1	
	海外の文化と社会Ⅱ	1②		1								1	
	海外の文化と社会Ⅲ	1③		1								1	
	政治学Ⅰ	1②		1								1	
	政治学Ⅱ	1②		1								1	
	法学	1②		1								1	
	日本国憲法Ⅰ	1①③		1								2	
	日本国憲法Ⅱ	1②④		1								2	
	経済学	1②		1								1	
	経営学	1④		1								1	
	社会学A	1②		1								1	
	社会学B	1④		1								1	
	異文化コミュニケーション	1①③		1								1	
	異文化コミュニケーション	1②④		1								1	
	メディア論	1②		1								1	
	教育学	1②		1								1	
	文化人類学Ⅰ	1①③		1								1	
	文化人類学Ⅱ	1②④		1								1	
	自然科学概論Ⅰ	1①③		1								2	
	自然科学概論Ⅱ	1②④		1								2	

【令和7年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	主 要 授 業 科 目	単位数			基幹教員等の配置						
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	以 基 幹 教 員 の 数 を 除 く 手 を 加 え た 数	以 基 幹 教 員 の 数 を 除 く 手 を 加 え た 数
共通 教育 科目	教養ゼミナールA	1①	○	1									2
	教養ゼミナールB	1②	○	1									2
	情報リテラシーⅠ	1①	○	1						1			1
	MDASHリテラシーⅠ	1②	○	1									2
	MDASHリテラシーⅡ	1③	○	1									2
	小計(5科目)	—	—	5	0	0	0	0	0	1	0		5
	教養の門	1前		1			0						10
	教養の世界	3②		1			0						8
	教養ラボ	3③		1			0						8
	総合領域A	1前		1									9
	総合領域B	1前		1									10
	総合領域C	1④		1									3
	情報リテラシーⅡ	1②④		1						1			4
	情報学Ⅰ	1②④		1									1
	情報学ⅡA	1②		1									1
	情報学ⅡB	1④		1									1
	哲学Ⅰ	1①③		1									2
	哲学Ⅱ	1②④		1									2
	哲学Ⅲ	1③		1									1
	論理学Ⅰ	1①③		1									2
	論理学Ⅱ	1②④		1									2
	心理学Ⅰ	1①③		1									1
	心理学Ⅱ	1②④		1									1
	心理学Ⅲ	1③		1									1
	倫理学Ⅰ	1①③		1									2
	倫理学Ⅱ	1②④		1									2
	倫理学Ⅲ	1③		1									1
	宗教学Ⅰ	1③		1									1
	宗教学Ⅱ	1④		1									1
	歴史学Ⅰ	1①③		1									2
	歴史学Ⅱ	1②④		1									2
	人文地理学Ⅰ	1①③		1									2
	人文地理学Ⅱ	1②④		1									2
	海外の文化と社会Ⅰ	1①		1									1
	海外の文化と社会Ⅱ	1②		1									1
	海外の文化と社会Ⅲ	1③		1									1
	政治学Ⅰ	1②		1									1
	政治学Ⅱ	1②		1									1
	法学	1②		1									1
	日本国憲法Ⅰ	1①③		1									1
	日本国憲法Ⅱ	1②④		1									1
	経済学	1②		1									1
	経営学	1④		1									1
	社会学A	1①③		1									2
	社会学B	1②④		1									2
	異文化コミュニケーション	1①③		1									2
	異文化コミュニケーション	1②④		1									2
	メディア論	1②		1									1
	教育学	1②		1									1
	文化人類学Ⅰ	1①③		1									2
	文化人類学Ⅱ	1②④		1									2
	自然科学概論Ⅰ	1①		1									1
	自然科学概論Ⅱ	1②		1									1

		教養数学A	1①③			1							1	
科目区分		授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			基幹教員等の配置						
					必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	以 外 の 教 員 の 数 員	一 時 へ の 助 手 を 要 す
共通教育科目	教養教育科目	教養数学B	1②④			1								1
		統計学Ⅰ	1①③			1								1
		統計学Ⅱ	1②④			1								1
		統計学Ⅲ	1③			1								1
		自然地理学Ⅰ	1③			1								1
		自然地理学Ⅱ	1④			1								1
		環境学Ⅰ	1③			1								1
		環境学Ⅱ	1④			1								1
		生活科学	1④			1								1
共通教育科目	教養教育科目	美学	1②			1								1
		デザイン学A	1②			1								2
		デザイン学B	1③			1								2
		ウェルビーイングと健康A	1①			1								1
		ウェルビーイングと健康B	1②			1								1
		スポーツとレジリエンスA	1③			1								1
		スポーツとレジリエンスB	1④			1								1
		健康・スポーツ科学論A	1①			1								1
		健康・スポーツ科学論B	1②			1								1
		言語学	1④			1		1						
		音声学入門	1②			1								1
		コミュニケーション論Ⅰ	1①③			1								1
		コミュニケーション論Ⅱ	1②④			1								1
		日本語上級ⅠA	1①			2								1
		日本語上級ⅠB	1②			2								1
		日本語上級ⅠC	1③			2								1
		日本語上級ⅠD	1④			2								1
		日本語上級ⅡA	2前			2								1
		日本語上級ⅡB	2後			2								1
		日本語リテラシーA	1前			2								1
		日本語リテラシーB	1後			2								1
		中国語Ⅰ	1①③			2								1
		中国語Ⅱ	1②④			2								1
		韓国語Ⅰ	1①③			2								1
		韓国語Ⅱ	1②④			2								1
		ドイツ語Ⅰ	1①③			2								1
		ドイツ語Ⅱ	1②④			2								1
		フランス語Ⅰ	1①③			2		1						
		フランス語Ⅱ	1②④			2		1						
		スペイン語Ⅰ	1①③			2								1
		スペイン語Ⅱ	1②④			2								1
		ロシア語Ⅰ	1①③			2								1
		ロシア語Ⅱ	1②④			2								1
		日本文学A	1②			1								1
		日本文学B	1④			1								1
		英米文学Ⅰ	1①③			1								1
		英米文学Ⅱ	1②④			1								1
		英米文学Ⅲ	1③			1								1
		海外研修Ⅰ	1			1								1
		海外研修Ⅱ	1			1								1
		海外研修Ⅲ	1			1								1
		海外研修Ⅳ	1			1								1
		海外研修Ⅴ	1			1								1
		海外研修Ⅵ	1			1								1
		海外研修Ⅶ	1			1								1
		海外研修Ⅷ	1			1								1
		海外研修Ⅸ	1			1								1
		海外研修Ⅹ	1			1								1
			小計（105科目）			0	125	0	1	0	0	0	0	42

	教養数学A	1①③		1							1
科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数	基幹教員等の配置						
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手
共通教育科目	教養数学B	1②④			1						1
	統計学Ⅰ	1①③			1						2
	統計学Ⅱ	1②④			1						2
	統計学Ⅲ	1③			1						1
	自然地理学Ⅰ	1③			1						1
	自然地理学Ⅱ	1④			1						1
	環境学Ⅰ	1③			1						1
	環境学Ⅱ	1④			1						1
	生活科学	1④			1						1
共通教育科目	美学	1②			1						1
	デザイン学A	1①			1						2
	デザイン学B	1②			1						2
	ウェルビーイングと健康A	1①			1						1
	ウェルビーイングと健康B	1②			1						1
	スポーツとレジリエンスA	1③			1						1
	スポーツとレジリエンスB	1④			1						1
	健康・スポーツ科学論A	1①			1						1
	健康・スポーツ科学論B	1②			1						1
	言語学	1④			1	0			1		
	音声学入門	1②			1						1
	コミュニケーション論Ⅰ	1①③			1						2
	コミュニケーション論Ⅱ	1②④			1						2
	日本語上級ⅠA	1①			2						1
	日本語上級ⅠB	1②			2						1
	日本語上級ⅠC	1③			2						1
	日本語上級ⅠD	1④			2						1
	日本語上級ⅡA	2前			2						1
	日本語上級ⅡB	2後			2						1
	日本語リテラシーA	1前			2						1
	日本語リテラシーB	1後			2						1
	中国語Ⅰ	1①③			2						1
	中国語Ⅱ	1②④			2						1
	韓国語Ⅰ	1①③			2						1
	韓国語Ⅱ	1②④			2						1
	ドイツ語Ⅰ	1①③			2						1
	ドイツ語Ⅱ	1②④			2						1
	フランス語Ⅰ	1①③			2	0					1
	フランス語Ⅱ	1②④			2	0					1
	スペイン語Ⅰ	1①③			2						1
	スペイン語Ⅱ	1②④			2						1
	ロシア語Ⅰ	1①③			2						1
	ロシア語Ⅱ	1②④			2						1
	日本文学A	1②			1						1
	日本文学B	1④			1						1
	英米文学Ⅰ	1①③			1						1
	英米文学Ⅱ	1②④			1						1
	英米文学Ⅲ	1③			1						1
	海外研修Ⅰ	1			1						1
	海外研修Ⅱ	1			1						1
	海外研修Ⅲ	1			1						1
	海外研修Ⅳ	1			1						1
	海外研修Ⅴ	1			1						1
	海外研修Ⅵ	1			1						1
	海外研修Ⅶ	1			1						1
	海外研修Ⅷ	1			1						1
	海外研修Ⅸ	1			1						1
	海外研修Ⅹ	1			1						1
	小計（105科目）			0	125	0	0	0	0	1	52

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	主要 授業 科目	単位数		基幹教員等の配置						
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	員基 以外 を 除く
共通 教育 科目	キャリア入門Ⅰ	1①②		1								2
	キャリア入門Ⅱ	1③④		1								2
	キャリアプランニングⅠ	2①②			1							1
	キャリアプランニングⅡ	2③④			1							1
	チームビルディング	2前			2							1
	プレゼンテーションスキルズ	2後			2							1
	業界課題研究Ⅰ	2③			1							1
	業界課題研究Ⅱ	2④			1							1
	キャリア実践演習	2後			1							1
	小計（9科目）			2	9	0	0	0	0	0	0	4
	教職入門（中等）	1③				2						1
	教育学概論Ⅰ（中等）	2②				1						1
	教育学概論Ⅱ（中等）	2③				1						1
	特別支援教育（中等）	2②				2						2
	教育心理学Ⅰ（中等）	2③				1						1
	教育心理学Ⅱ（中等）	2④				1						1
	生徒・進路指導論（中等）	2後				2						1
	道徳教育の理論と方法（中等）	2後				2						1
	教育相談の理論と方法Ⅰ（中等）	2③				1						1
	教育相談の理論と方法Ⅱ（中等）	2④				1						1
	教育社会学Ⅰ（中等）	3③				1						1
	教育社会学Ⅱ（中等）	3④				1						1
	介護等体験（事前・事後の指導を含む）	2前				2						1
	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法（中等）	3前				2						1
専 門 基 礎 科 目	教育課程論Ⅰ（中等）	3①				1						1
	教育課程論Ⅱ（中等）	3②				1						1
	教育方法論（中等）	3前				2						2
	情報教育の理論と方法Ⅰ（中等）	2②				1						1
	情報教育の理論と方法Ⅱ（中等）	3①				1						1
	中等教育実習・事前事後の指導	34前				1						2
	中等教育実習Ⅰ	34前				2						1
	中等教育実習Ⅱ	34前				2						1
	教職実践演習（中等）	4後				2		1				2
	小計（23科目）			0	0	33	0	1	0	0	0	11
	共通教育科目合計（142科目）			7	134	33	1	1	0	0	0	57
専 門 基 礎 科 目	比較文化	1①②	○	2								5
	ワールドトピックス	1②③	○	2								1
	日本社会と文化	1②③	○	2								7
	小計（3科目）			6	0	0	0	0	0	0	0	7
	Speaking SkillsⅠ	1①	○		2		1	1				1
	Speaking SkillsⅡ	1②	○		2		1	1				1
	Listening SkillsⅠ	1①	○		2		1			1		1
	Listening SkillsⅡ	1②	○		2		1			1		1
	Reading SkillsⅠ	1①	○		2			1				2
	Reading SkillsⅡ	1②	○		2			1				2
	Writing SkillsⅠ	1①	○		2		1	1				1
	Writing SkillsⅡ	1②	○		2		1	1				1
	Speaking and PresentationⅠ	1③	○		2		1	1				1
	Discussion on Current EventsⅠ	1③	○		2		1			1		1
	Writing for ResearchⅠ	1③	○		2		2	1				1
	Reading and VocabularyⅠ	1③	○		2							2
	言語文化論A	1②	○		2							6
	言語文化論B	1③	○		2							6
	地域研究A	1②	○		2							1
	地域研究B	1③	○		2							7
	物質文化A	1③	○		2							1
	小計（17科目）			0	34	0	3	2	0	1	0	12

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	主要 授業 科目	単位数		基幹教員等の配置						
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	員基 以外 を 除く
共通 教育 科目	キャリア入門Ⅰ	1①②			1							2
	キャリア入門Ⅱ	1③④			1							2
	キャリアプランニングⅠ	2①②			1							1
	キャリアプランニングⅡ	2③④			1							1
	チームビルディング	2前			2							1
	プレゼンテーションスキルズ	2後			2							1
	業界課題研究Ⅰ	2③			1							1
	業界課題研究Ⅱ	2④			1							1
	キャリア実践演習	2後			1							1
	小計（9科目）			0	11	0	0	0	0	0	0	4
	教職入門（中等）	1後				2						1
	教育学概論Ⅰ（中等）	2②				1						1
	教育学概論Ⅱ（中等）	2③				1						1
	特別支援教育（中等）	2②				2						2
	教育心理学Ⅰ（中等）	2③				1						1
	教育心理学Ⅱ（中等）	2④				1						1
	生徒・進路指導論（中等）	2後				2						1
	道徳教育の理論と方法（中等）	2後				2						1
	教育相談の理論と方法Ⅰ（中等）	2③				1						1
	教育相談の理論と方法Ⅱ（中等）	2④				1						1
	教育社会学Ⅰ（中等）	3③				1						1
	教育社会学Ⅱ（中等）	3④				1						1
	介護等体験（事前・事後の指導を含む）	2前				2						1
	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法（中等）	3前				2						1
専 門 基 礎 科 目	教育課程論Ⅰ（中等）	3①				1						1
	教育課程論Ⅱ（中等）	3②				1						1
	教育方法論（中等）	3前				2						2
	情報教育の理論と方法Ⅰ（中等）	2②				1						1
	情報教育の理論と方法Ⅱ（中等）	3①				1						1
	中等教育実習・事前事後の指導	34前				1						2
	中等教育実習Ⅰ	34前				2						1
	中等教育実習Ⅱ	34前				2						1
	教職実践演習（中等）	4後				2		0				3
	小計（23科目）			0	0	33	0	0	0	0	0	11
	共通教育科目合計（142科目）			5	136	33	0	0	0	1	0	59
専 門 基 礎 科 目	比較文化	1前	○	2								3
	ワールドトピックス	1②③	○	2								1
	日本社会と文化	1②③	○	2								4
	小計（3科目）			6	0	0	0	0	0	0	0	8
	Speaking SkillsⅠ	1①	○		2		0	0	1			2
	Speaking SkillsⅡ	1②	○		2		0	0	1			2
	Listening SkillsⅠ	1①	○		2		1			1		
	Listening SkillsⅡ	1②	○		2		1			1		
	Reading SkillsⅠ	1①	○		2			0				2
	Reading SkillsⅡ	1②	○		2			0				2
	Writing SkillsⅠ	1①	○		2		0	1				2
	Writing SkillsⅡ	1②	○		2		0	1				2
	Speaking and PresentationⅠ	1③	○		2		0	0		1		2
	Discussion on Current EventsⅠ	1③	○		2		1			0		1
	Writing for ResearchⅠ	1③	○		2		0	0	1			2
	Reading and VocabularyⅠ	1③	○		2							1
	言語文化論A	1②	○		2							3
	言語文化論B	1③	○		2							2
	地域研究A	1②	○		2							1
	地域研究B	1③	○		2							7
	物質文化A	1③	○		2							1
	小計（17科目）			0	34	0	2	1	1	1	0	12

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	主要 授業 科目	単位数			基幹教員等の配置						
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	員基 以 外 除	員基 以 外 除
専 門 基 礎 科 目	Speaking and Presentation II	1④			2		1						
	Discussion on Current Events II	1④			2		1						
	Writing for Research II	1④			2		1						
	Reading and Vocabulary II	1④			2							1	
	Grammar in Use I	1③			2		1						
	Grammar in Use II	1④			2		1						
	海外留学 I	1後			2		1	1					4
	海外留学 II	2前			2			1					5
	小計 (8科目)			0	16	0	3	2	0	0	0		8
	専門ゼミナール I	3通	○	3			2	1					5
学 部 共 通 科 目	専門ゼミナール II	4通	○	3			2	1					5
	卒業研究	4④	○	2			2	1					5
	多文化共生論	2②③	○	2									7
	Aspects of Language and Culture	2②③	○	2			3	2		1			1
	リサーチリテラシー	2後	○	2									6
	Academic Writing	2後	○	2			1			1			2
	小計 (7科目)			16	0	0	3	2	0	1	0		10
	TOEIC I	2②③	○		1			1					
	TOEIC II	2③④	○		1			1					
	TOEIC III	2後	○		2			1					
専 門 発 展 科 目	TOEIC IV	2後	○		2			1					
	小計 (4科目)			0	6	0	0	1	0	0	0		0
	English Linguistics	2後	○		2					1			
	実践英文法	2後	○		2		1						
	音声学	2後	○		2							1	
	Comparative Study of English and Japanese	2後	○		2								1
	小計 (4科目)			0	8	0	1	0	0	1	0		2
	Practice in English Linguistics	3前			2		1						
	World English and English as a Lingua Franca	3前			2		1						
	Cross-Cultural Understanding	3後			2								1
国 際 英 語 学 科	English Literature	3前			2								1
	Second Language Acquisition	3前			2		1						
	通訳ガイド	3前			2								1
	会議通訳	3後			2								1
	文芸翻訳	3前			2		1						
	Debate	3後			2		1						
	Media English	2後			2					1			
	フューチャースキルズプロジェクト	2後			1					1			
	English in Tourism	2後			2			1					
	Writing for Business	3後			2								1
教 職 専 科	実践ビジネススキル	3後			2		1						
	Interpersonal Communication I	2後			2		1						1
	Interpersonal Communication II	3前			2		1						1
	English in the Age of AI	3前			2					1			
	英語科教育法 I	2後			2			1					
	英語科教育法 II	3前			2			1					
	英語科教育法 III	3前			2			1					
	英語科教育法 IV	3後			2		1						
	小計 (21科目)			0	41	0	3	2	0	1	0		4
	小計 (21科目)			0	41	0	3	2	0	1	0		4
専門教育科目合計 (64科目)				22	105	0	3	2	0	1	0		16
合計 (206科目)				—	—	29	239	33	3	2	0	1	0
卒業要件及び履修方法													
《卒業要件》 卒業に必要な単位数は、124単位以上とする。なお、科目区分ごとに以下の要件を付す。 (1) 「共通教育科目」は、「教養教育科目」と「キャリア教育科目」で構成され 必修を含め18単位以上取得すること。 ①「教養教育科目」の「教養ゼミナールA・B」、「情報リテラシー I」、「 「MDASHリテラシー I・II」 5単位必修 ②「教養教育科目」と「キャリア教育科目」の選択科目より16単位以上 (2) 「専門教育科目」は、「専門基礎科目」と「専門発展科目」で構成され 必修を含め66単位以上取得すること。 ①「専門基礎科目」の必修で6単位、選択必修で18単位以上取得すること。 ②「専門発展科目」は、必修18単位以上、コア科目6単位以上、 学科選択10単位以上、他学科(国際文化学科)科目4単位以上取得すること。 《履修登録の上限》 履修科目の登録上限は、年間44単位とする。													

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	主要 授業 科目	単位数			基幹教員等の配置						
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	員基 以 外 除	員基 以 外 除
専 門 基 礎 科 目	Speaking and Presentation II	1④			2		0		1				
	Discussion on Current Events II	1④			2		1						
	Writing for Research II	1④			2		0		1				
	Reading and Vocabulary II	1④			2							1	
	Grammar in Use I	1③			2			1					
	Grammar in Use II	1④			2		1	0					
	海外留学 I	1後			2		0	1					4
	海外留学 II	2前			2			2					3
	小計 (8科目)			0	16	0	2	2	1	0	0		7
	小計 (8科目)			0	16	0	2	2	1	0	0		7
学 部 共 通 科 目	専門ゼミナール I	3①～③	○	3			2	1	1				0
	専門ゼミナール II	4①～③	○	3			2	0	1				0
	卒業研究	4④	○	2			2	0	1				0
	多文化共生論	2②③	○	2									1
	Aspects of Language and Culture	2②③	○	2			3	2	1	1			1
	リサーチリテラシー	2後	○	2									5
	Academic Writing	2後	○	2			0	1		1			1
	小計 (7科目)			16	0	0	3	2	1	1	0		8
	小計 (7科目)			16	0	0	3	2	1	1	0		8
	小計 (7科目)			16	0	0	3	2	1	1	0		8
専 門 発 展 科 目	TOEIC I	2②③	○		1			1					
	TOEIC II	2③④	○		1			1					
	TOEIC III	2後	○		2			1					
	TOEIC IV	2後	○		2			1					
	小計 (4科目)			0	6	0	0	1	0	0	0		0
	小計 (4科目)			0	6	0	0	1	0	0	0		0
	English Linguistics	2後	○		2					1			
	実践英文法	2後	○		2		0	1					
	音声学	2後	○		2							1	
	Comparative Study of English and Japanese	2後	○		2								1
国 際 英 語 学 科	小計 (4科目)			0	8	0	0	1	0	1	0		2
	小計 (4科目)			0	8	0	0	1	0	1	0		2
	Practice in English Linguistics	3前			2		0				1		
	World English and English as a Lingua Franca	3前			2		1						
	Cross-Cultural Understanding	3後			2								1
	English Literature	3前			2								1
	Second Language Acquisition	3前			2		0		1				
	通訳ガイド	3前			2		1						
	会議通訳	3後			2		1						
	文芸翻訳	3前			2		1						
教 職 専 科	Debate	3後			2		1						
	Media English	2後			2		1						
	フューチャースキルズプロジェクト	2後			1		1			0			
	English in Tourism	2後			2				1				
	Writing for Business	3後			2								1
	実践ビジネススキル	3後			2		1						
	Interpersonal Communication I	2後			2								1
	Interpersonal Communication II	3前			2								1
	English in the Age of AI	3前			2					1			
	英語科教育法 I	2後			2		1						
専 門 基 礎 科 目	英語科教育法 II	3前			2			1					
	英語科教育法 III	3前			2		1						
	英語科教育法 IV	3後			2		1						
	小計 (21科目)			0	41	0	3	2	1	1	0		4
	小計 (21科目)			0	41	0	3	2	1	1	0		4
	小計 (21科目)			0	41	0	3	2	1	1	0		4
専門教育科目合計 (64科目)				22	105	0	3	2	1	1	0		16
合計 (206科目)				—	—	27	241	33	3	2	1	1	0
卒業要件及び履修方法													
《卒業要件》 卒業に必要な単位数は、124単位以上とする。なお、科目区分ごとに以下の要件を付す。 (1) 「共通教育科目」は、「教養教育科目」と「キャリア教育科目」で構成され 必修を含め18単位以上取得すること。 ①「教養教育科目」の「教養ゼミナールA・B」、「情報リテラシー I」、「 「MDASHリテラシー I・II」 5単位必修 ②「教養教育科目」と「キャリア教育科目」の選択科目より13単位以上 (2) 「専門教育科目」は、「専門基礎科目」と「専門発展科目」で構成され 必修を含め66単位以上取得すること。 ①「専門基礎科目」の必修で6単位、選択必修で18単位以上取得すること。 ②「専門発展科目」は、必修10単位以上、コア科目6単位以上、 学科選択10単位以上、他学科(国際文化学科)科目4単位以上取得すること。 《履修登録の上限》 履修科目の登録上限は、年間44単位とする。													

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、改正後大学設置基準等(令和4年10月1日施行)の適用以前については、改正前様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「基幹教員等の配置」欄は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員等の配置」としてください。
 - ・ 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員以外の教員(助手を除く)」は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員以外の教員(助手を除く)」としてください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の授業科目全て(基幹教員(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」)以外の教員(助手を除く)(改正後大学設置基準等の適用以前は兼任、兼任教員)が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。
 その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字**としてください。
 なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準等(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、「認可時又は届出時」の「主要授業科目」欄は削除し、「基幹教員等の配置」欄は「専任教員等の配置」、「基幹教員以外の教員(助手を除く)」欄は「兼任・兼任」としてください。その上で、各年度については、「基幹教員(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」)」数は、認可時又は届出時の「専任教員」数との比較において変更となっている箇所、「基幹教員以外の教員(助手を除く)」(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員以外の教員(助手を除く)」)」数は、認可時又は届出時の「兼任・兼任」数との比較において変更となっている箇所を**太字の赤字**としてください。
 (専任教員から基幹教員に変更したことをもって太字の赤字とする必要はありません。)
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和6年度開設であれば令和5年度以前)の表は適宜削除してください。
 (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。
 その場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。
 新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に(新)又は(旧)と追記してください。
 (例:記載順)【認可時又は届出時】→【令和7年度(新)】→【令和6年度(新)】→【令和5年度】→【令和4年度】→【令和7年度(旧)】→【令和6年度(旧)】
- (1) —②授業科目表に関する変更内容

【令和7年度】

- ・ 「教養ゼミナールA」を6クラスから2クラス開講としたため、基幹教員等の配置を「基幹教員以外の教員6」から「基幹教員以外の教員2」に変更。
- ・ 「教養ゼミナールB」を6クラスから2クラス開講としたため、基幹教員等の配置を「基幹教員以外の教員6」から「基幹教員以外の教員2」に変更。
- ・ 教育内容の充実を図るため、「情報リテラシーⅠ」の配当期を「1①②」から「1①」に変更。
- ・ 松本助教が「情報リテラシーⅠ」の担当教員となったため、基幹教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更、及び「基幹教員以外の教員8」から「基幹教員以外の教員1」に変更
- ・ 教育内容の充実を図るため、「MDASHリテラシーⅠ」の配当期を「1①③」から「1②」に変更。
- ・ 「MDASHリテラシーⅠ」を5クラスから2クラス開講としたため、基幹教員等の配置を「基幹教員以外の教員5」から「基幹教員以外の教員2」に変更。
- ・ 教育内容の充実を図るため、「MDASHリテラシーⅡ」の配当期を「1②④」から「1③」に変更。
- ・ 「MDASHリテラシーⅡ」を5クラスから2クラス開講としたため、基幹教員等の配置を「基幹教員以外の教員5」から「基幹教員以外の教員2」に変更。
- ・ 教育内容の充実を図るため、「教養の門」の配当期を「1①」から「1前」に変更、及び基幹教員等の配置を「基幹教員以外の教員8」から「基幹教員以外の教員10」に変更。
- ・ 2024年9月ブローダウェイ教授退職により、「教養の門」「教養の世界」「教養ラボ」の基幹教員等の配置を「教授1」から「教授0」に変更。
- ・ 教育内容の充実を図るため、「総合領域A」の配当期を「1①」から「1前」に変更、及び基幹教員等の配置を「基幹教員以外の教員1」から「基幹教員以外の教員9」に変更。
- ・ 教育内容の充実を図るため、「総合領域B」の配当期を「1②」から「1前」に変更、及び基幹教員等の配置を「基幹教員以外の教員1」から「基幹教員以外の教員10」に変更。
- ・ 教育内容の充実を図るため、「総合領域C」の基幹教員等の配置を「基幹教員以外の教員1」から「基幹教員以外の教員3」に変更。
- ・ 教育内容の充実を図るため、「情報リテラシーⅡ」の配当期を「1③④」から「1②④」に変更。
- ・ 松本助教が「情報リテラシーⅡ」の担当教員となったため、基幹教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更、及び「基幹教員以外の教員8」から「基幹教員以外の教員4」に変更。
- ・ 時間割調整のため、「情報学Ⅰ」の配当期を「1①③」から「1②④」に変更。
- ・ 担当教員が育児休業取得のため、「哲学Ⅰ」「哲学Ⅱ」の基幹教員等の配置を「基幹教員以外の教員1」から「基幹教員以外の教員2」に変更。
- ・ 教育内容の充実を図るため、「倫理学Ⅰ」「倫理学Ⅱ」の基幹教員等の配置を「基幹教員以外の教員1」から「基幹教員以外の教員2」に変更。
- ・ 他大学就任で2025年3月桑野准教授退職により、「宗教学Ⅰ」の配当期を「1①③」から「1③」、「宗教学Ⅱ」の配当期を「1②④」から「1④」に変更、及び基幹教員等の配置を「基幹教員以外の教員2」から「基幹教員以外の教員1」に変更。

- ・時間割調整のため、「日本国憲法Ⅰ」「日本国憲法Ⅱ」の基幹教員等の配置を「基幹教員以外の教員2」から「基幹教員以外の教員1」に変更。
- ・教育内容の充実を図るため、「社会学A」の配当期を「1②」から「1①③」に変更、及び基幹教員等の配置を「基幹教員以外の教員1」から「基幹教員以外の教員2」に変更。
- ・教育内容の充実を図るため、「社会学B」の配当期を「1④」から「1②④」に変更、及び基幹教員等の配置を「基幹教員以外の教員1」から「基幹教員以外の教員2」に変更。
- ・教育内容の充実を図るため、「異文化コミュニケーション論Ⅰ」「異文化コミュニケーション論Ⅱ」の基幹教員等の配置を「基幹教員以外の教員1」から「基幹教員以外の教員2」に変更。
- ・教育内容の充実を図るため、「文化人類学Ⅰ」「文化人類学Ⅱ」の基幹教員等の配置を「基幹教員以外の教員1」から「基幹教員以外の教員2」に変更。
- ・時間割調整のため、「自然科学概論Ⅰ」の配当期を「1①③」から「1①」に変更、及び基幹教員等の配置を「基幹教員以外の教員2」から「基幹教員以外の教員1」に変更。
- ・時間割調整のため、「自然科学概論Ⅱ」の配当期を「1②④」から「1②」に変更、及び基幹教員等の配置を「基幹教員以外の教員2」から「基幹教員以外の教員1」に変更。
- ・教育内容の充実を図るため、「統計学Ⅰ」「統計学Ⅱ」の基幹教員等の配置を「基幹教員以外の教員1」から「基幹教員以外の教員2」に変更。
- ・時間割調整のため、「デザイン学A」の配当期を「1②」から「1①」に変更。
- ・時間割調整のため、「デザイン学B」の配当期を「1③」から「1②」に変更。
- ・2024年9月ブローダウェイ教授退職により松本助教が「言語学」の担当教員となったため、基幹教員等の配置を「教授1」から「教授0」に変更、及び「助教0」から「助教1」に変更。
- ・教育内容の充実を図るため、「コミュニケーション論Ⅰ」「コミュニケーション論Ⅱ」の基幹教員等の配置を「基幹教員以外の教員1」から「基幹教員以外の教員2」に変更。
- ・2024年9月ブローダウェイ教授退職により、「フランス語Ⅰ」「フランス語Ⅱ」の基幹教員等の配置を「教授1」から「教授0」に変更、及び「基幹教員以外の教員0」から「基幹教員以外の教員1」に変更。
- ・申請時の誤りにより、「キャリア入門Ⅰ」「キャリア入門Ⅱ」の単位数を「必修1」から「選択1」に変更。
- ・申請時の誤りにより、「教職入門（中等）」の配当期を「1③」から「1後」に変更。
- ・時間割調整のため、「教職実践演習（中等）」の基幹教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更、及び「基幹教員以外の教員2」から「基幹教員以外の教員3」に変更。

- ・教育内容の充実を図るため、「比較文化」の配当期を「1①②」から「1前」に変更、及び時間割調整のため、基幹教員等の配置を「基幹教員以外の教員5」から「基幹教員以外の教員3」に変更。
- ・時間割調整のため、「日本社会と文化」の基幹教員等の配置を「基幹教員以外の教員7」から「基幹教員以外の教員4」に変更。
- ・2024年9月ブローダウェイ教授退職により、「Speaking SkillsⅠ」「Speaking SkillsⅡ」の基幹教員等の配置を「教授1」から「教授0」に変更。
- ・2024年9月マークス講師就任により、「Speaking SkillsⅠ」「Speaking SkillsⅡ」の基幹教員等の配置を「講師0」から「講師1」に変更、及び時間割調整のため、「准教授1」から「准教授0」に変更、及び「基幹教員以外の教員1」から「基幹教員以外の教員2」に変更。
- ・時間割調整のため、「Reading SkillsⅠ」「Reading SkillsⅡ」の基幹教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・2024年9月ブローダウェイ教授退職により、「Writing SkillsⅠ」「Writing SkillsⅡ」の基幹教員等の配置を「教授1」から「教授0」に変更、及び「基幹教員以外の教員1」から「基幹教員以外の教員2」に変更。
- ・2024年9月ブローダウェイ教授退職により、「Speaking and PresentationⅠ」の基幹教員等の配置を「教授1」から「教授0」に変更。
- ・時間割調整のため、「Speaking and Presentation1」の基幹教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更、及び「助教0」から「助教1」に変更、及び「基幹教員以外の教員1」から「基幹教員以外の教員2」に変更。
- ・時間割調整のため、「Discussion on Current EventsⅠ」の基幹教員等の配置を「助教1」から「助教0」に変更。
- ・2024年9月ブローダウェイ教授退職、2024年9月マークス講師就任により、「Writing for ResearchⅠ」の基幹教員等の配置を「教授1」から「教授0」に変更、及び「講師0」から「講師1」に変更。
- ・時間割調整のため、「Writing for ResearchⅠ」の基幹教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更、及び「基幹教員以外の教員1」から「基幹教員以外の教員2」に変更。
- ・時間割調整のため、「Reading and VocabularyⅠ」の基幹教員等の配置を「基幹教員以外の教員2」から「基幹教員以外の教員1」に変更。
- ・「言語文化論A」を6クラスから3クラス開講としたため、基幹教員等の配置を「基幹教員以外の教員6」から「基幹教員以外の教員3」に変更。
- ・「言語文化論B」を6クラスから2クラス開講としたため、基幹教員等の配置を「基幹教員以外の教員6」から「基幹教員以外の教員2」に変更。
- ・2024年9月ブローダウェイ教授退職、2024年9月マークス講師就任により、「Speaking and PresentationⅡ」の基幹教員等の配置を「教授1」から「教授0」に変更、及び「講師0」から「講師1」に変更。
- ・2024年9月ブローダウェイ教授退職、2024年9月マークス講師就任により、「Writing for ResearchⅡ」の基幹教員等の配置を「教授1」から「教授0」に変更、及び「講師0」から「講師1」に変更。

- ・2025年4月前田准教授の教授就任により、「Grammar in USEⅡ」の基幹教員等の配置を「教授0」から「教授1」に変更、及び「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・2024年3月岡本教授退職により、「海外留学Ⅰ」の基幹教員等の配置を「教授1」から「教授0」に変更。
- ・2024年4月嶋村准教授就任により、「海外留学Ⅱ」の基幹教員等の配置を「准教授1」から「准教授2」に変更、及び時間割調整のため、「基幹教員以外の教員5」から「基幹教員以外の教員3」に変更。
- ・申請時の誤りにより、「専門ゼミナールⅠ」の配当期を「3通」から「3①～③」に変更。
- ・2024年9月ブローダウェイ教授退職、2024年9月マークス講師就任、2025年4月前田准教授の教授就任により、「専門ゼミナールⅠ」の基幹教員等の配置を「講師0」から「講師1」に変更、及び「基幹教員以外の教員5」から「基幹教員以外の教員0」に変更。
- ・申請時の誤りにより、「専門ゼミナールⅡ」の配当期を「4通」から「4①～③」に変更。
- ・2024年9月ブローダウェイ教授退職、2024年9月マークス講師就任、2025年4月前田准教授の教授就任により、「専門ゼミナールⅡ」「卒業研究」の基幹教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更、及び「講師0」から「講師1」に変更、及び「基幹教員以外の教員5」から「基幹教員以外の教員0」に変更。
- ・時間割調整のため、「多文化共生論」の基幹教員等の配置を「基幹教員以外の教員7」から「基幹教員以外の教員1」に変更。
- ・2024年9月マークス講師就任により、「Aspects of Language and Culture」の基幹教員等の配置を「講師0」から「講師1」に変更。
- ・時間割調整のため、「リサーチリテラシー」の基幹教員等の配置を「基幹教員以外の教員6」から「基幹教員以外の教員5」に変更。
- ・2024年9月ブローダウェイ教授退職、2024年4月嶋村准教授就任により、「Academic Writing」の基幹教員等の配置を「教授1」から「教授0」に変更、及び「准教授0」から「准教授1」に変更、及び「基幹教員以外の教員2」から「基幹教員以外の教員1」に変更。
- ・2024年3月岡本教授退職、2024年4月嶋村准教授就任により、「実践英文法」の基幹教員等の配置を「教授1」から「教授0」に変更、及び「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・2024年3月岡本教授退職により、松本助教が「Practice in English Linguistics」の担当教員となったため、基幹教員等の配置を「教授1」から「教授0」に変更、及び「助教0」から「助教1」に変更。
- ・2024年3月岡本教授退職、2024年9月マークス講師就任により、「Second Language Acquisition」の基幹教員等の配置を「教授1」から「教授0」に変更、及び「講師0」から「講師1」に変更。
- ・2024年4月横野准教授が特任教授就任により、「通訳ガイド」「会議通訳」の基幹教員等の配置を「教授0」から「教授1」に変更、及び「基幹教員以外の教員1」から「基幹教員以外の教員0」に変更。
- ・「Mddia English」の担当教員が松本助教から田中教授に変更となったため、基幹教員等の配置を「教授0」から「教授1」に変更、及び「助教1」から「助教0」に変更。

・申請時の誤りにより、「フューチャースキルズプロジェクト」の配当期を「2後」から「2④」に変更、及び基幹教員等の配置を「教授0」から「教授1」に変更、及び「助教1」から「助教0」に変更。

・2024年9月フローダウェイ教授退職により、「Interpersonal Communication I」「Interpersonal Communication II」の基幹教員等の配置を「教授1」から「教授0」に変更、及び「基幹教員以外の教員0」から「基幹教員以外の教員1」に変更。

・2025年4月前田准教授が教授就任により、「英語科教育法Ⅰ」「英語科教育法Ⅲ」の基幹教員等の配置を「教授0」から「教授1」に変更、及び「准教授1」から「准教授0」に変更。

・「英語科教育法Ⅱ」の担当教員が前田教授から嶋村准教授に変更。（教授就任前の申請のため、基幹教員等の配置の「准教授1」に変更なし。）

・2024年3月岡本教授退職、2025年4月前田准教授の教授就任により、「英語科教育法Ⅳ」の担当教員が変更。（基幹教員等の配置の「教授1」に変更なし。）

- (注)・ 2（1）-④ 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、基幹教員等の配置の変更、主要授業科目の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。
- 変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。また、改正後大学設置基準（令和4年10月1日施行）の適用により、専任教員から基幹教員に変更した場合（例：「専任教員 教授1」から「基幹教員 教授1」に変更）や、兼任・兼任教員から基幹教員以外の教員に変更した場合（例：「兼任教員1」から「基幹教員以外の教員1」に変更）については、記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（令和6年度開設であれば令和5年度以前）の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
17 科目	166 科目	23 科目	206 科目	15 科目 [△2]	168 科目 [2]	23 科目 []	206 科目 []	

- (注)・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1 科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム（新カリキュラム）の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム（旧カリキュラム）の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

(注)・配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

- ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
- ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
- ・専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
- ・該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

(注)・設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

- ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
- ・専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
- ・該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(注)・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（３）と廃止科目（４）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（Ａ）}} = \frac{0}{206} = \boxed{0} \%$$

(注)・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「（３）未開講科目」と「（４）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1)	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	金沢星稜大学女子短期			
	校 舎 敷 地	0㎡	69,313.79㎡	0㎡	69,313.79㎡	大学部（必要面積 3,000			
	そ の 他	0㎡	6,649.15㎡	0㎡	6,649.15㎡	㎡ 2,480㎡ ）と共用 （収容定員：300人 248			
	合 計	0㎡	75,913.62㎡	0㎡	75,913.62㎡	人） 【借地面積】 【校舎面積】 借用面積：4,573㎡ 平成26年5月1日より 借用期間：30年 借用面積：1,359㎡ 平成27年1月1日より 借用期間：30年 借用面積：671㎡ 平成27年1月1日より 借用期間：22年 30年 借用面積：330㎡ 平成27年1月1日より 借用期間：30年 【運動場用地】 借用面積：3,168㎡ 平成26年5月1日より 借用期間：30年 借用面積：1,413㎡ 平成27年1月1日より 借用期間：30年 【その他】 借用面積：4,111.83 ㎡ 借用期間：2年 借用面積：303㎡ 借用期間：2年			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	金沢星稜大学女子短期			
		3,584.48㎡ (3,584.48㎡)	23,028.36㎡ (23,028.36㎡)	2,003.20㎡ (2,003.20㎡)	28,616.04㎡ (28,616.04㎡)	大学部（必要面積 2,350㎡）と教養 （収容定員：300人 248人 ）			
(3) 教室・教員研究室		教 室	86室	教員研究室	103室	大学全体			
(4)	新設学部等 の名称	図 書		学術雑誌		機械・器具	標本		
		〔うち外国書〕 冊	電子図書 〔うち外国書〕	〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕				
	国際英語学科	184,524〔27,120〕 179,623〔27114〕 (184,524〔27,120〕)	59〔51〕 (59〔51〕)	2,527〔208〕 (2,527〔208〕)	281〔281〕 36〔36〕 557〔556〕 (36〔36〕)	0 (0)	届出学科での特定が 不能なため大学全体		
	計	184,524〔27,120〕 179,623〔27114〕 (184,524〔27,120〕)	59〔51〕 (59〔51〕)	2,527〔208〕 (2,527〔208〕)	281〔281〕 36〔36〕 557〔556〕 (36〔36〕)	0 (0)			
(5) スポーツ施設等		スポーツ施設		講堂	厚生補導施設	大学全体			
		11,415㎡		2,648㎡	2,582㎡				
(6)	経費の見 積り及び 維持方法 の 概 要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員 1 人 当り 研究 費 等	300千円	300千円	図書購入費	4,500千円 4,525千円	4,400千円 4,525千円	4,400千円 4,525千円	
		共 同 研 究 費 等	6,500千円	6,500千円	設備購入費	1,000千円	500千円	500千円	
		学生 1 人 当り 納付金	第 1 年次 1,362千円	第 2 年次 1,212千円	第 3 年次 1,212千円	第 4 年次 1,212千円	第 5 年次 —千円	第 6 年次 —千円	
		学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入					

- (注)・ 設置時の計画を、申請書の様式第 2 号（その 1 の 1）又は（その 1 の 3）に準じて作成してください。
- （複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「（1）校地等」及び「（2）校舎」は大学全体の数字を、その他の項目は A C 対象学部等の数値を記入してください。）
- ・ 「(4)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の 5 月 1 日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を**赤字で見え消し**修正するとともに、その理由及び報告年度「(6)」を「備考」に**赤字**で記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告において**赤字で見え消し**した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 高等専門学校については「(3) 教室・教員研究室」欄の「教員研究室」は記載不要です。
 - ・ 国立大学については「(6) 経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学 学 校 名	〇 〇 大 学										収容定員充足率0.7倍以下の学科数	0	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	2
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備 考			
経済学部	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度					
経済学科	4	440	0	1760	-	1.13	-	-	昭和42	-				
経営学科	4	220	0	980	学士(経済)	1.14	-	-	昭和42	石川県金沢市御所町五10番地1	令和6年度から入学定員変更(270→220)			
地域システム学科	4	135	0	610	学士(経営学)	1.17	-	-	平成16	同上	令和6年度から入学定員変更(170→135)			
人間科学部	4	85	0	170	学士(経済)	0.92	-	-	令和6	同上				
スポーツ学科	4	143	0	572	-	1.09	-	令和5	平成25	-				
こども学科	4	75	0	300	学士(人間科学)	1.01	-	令和5	平成25	石川県金沢市御所町五10番地1				
人文学部	4	68	0	272	学士(人間科学)	1.19	-	令和5	平成25	同上				
国際文化学科	4	75	0	300	-	1.03	-	令和4	令和元	-				
国際英語学科	4	45	0	270	学士(人文学)	1.02	-	令和4	令和元	石川県金沢市御所町五10番地1	令和7年度から入学定員変更(75→45)			
大学全体	4	30	0	30	学士(人文学)	1.10	-	令和4	令和元	同上				

- (注)・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)
- なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
- ・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「入学定員超過率」及び「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「-」とした上で、「非表示」設定としてください。
- ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
- ※「入学定員を定めている組織」ごとに、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
- 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
- ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
- ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
- 開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。
- 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和8年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」を確認ください。
- ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
- なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
- ・「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。
- ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
- ・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。
- 詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

5 教育研究実施組織の状況

<人文学部 国際英語学科>

(1) ー① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
基(主専)	教授 (副学 長)	田中 富士美 <令和7年4月> MA in TESOL(英国)
		Listening Skills I Listening Skills II Discussion on Current Events I Discussion on Current Events II 専門ゼミナール I 専門ゼミナール II 卒業研究 Aspects of Language and Culture ※ World Englishes and English as a Lingua Franca Debate
基(主専)	教授	岡本 芳和 <令和7年4月> 博士(英語学)
		Writing for Research I 海外留学 I Aspects of Language and Culture ※ 実践英文法 Practice in English Linguistics Second Language Acquisition 英語科教育法IV

【令和7年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
基(主専)	教授 (副学 長)	田中 富士美 <令和7年4月> MA in TESOL(英国)
		Discussion on Current Events II 専門ゼミナール I 専門ゼミナール II 卒業研究 Aspects of Language and Culture ※ World Englishes and English as a Lingua Franca Debate Media English

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
基（主専）	教授	ブローダウェイ リック ＜令和7年4月＞ Master of Arts Education (米国)
		教養の門 教養の世界 教養ラボ 言語学 フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ Speaking SkillsⅠ Speaking SkillsⅡ Writing SkillsⅠ Writing SkillsⅡ Speaking and PresentationⅠ Writing for ResearchⅠ Speaking and PresentationⅡ Writing for ResearchⅡ 専門ゼミナールⅠ 専門ゼミナールⅡ 卒業研究 Aspects of Language and Culture ※ Academic Writing 文芸翻訳 Interpersonal Communication Ⅰ Interpersonal Communication Ⅱ
基（主専）	准教授 (学科 長)	前田 昌寛 ＜令和7年4月＞ 修士（教育学）
		教職実践演習（中等） Reading SkillsⅠ Reading SkillsⅡ Grammar in UseⅠ Grammar in UseⅡ 専門ゼミナールⅠ 専門ゼミナールⅡ 卒業研究 Aspects of Language and Culture ※ フューチャースキルズプロジェ クト 実践ビジネススキル 英語科教育法Ⅰ 英語科教育法Ⅱ 英語科教育法Ⅲ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
基（主専）	教授 (学科 長)	
		Grammar in UseⅡ 専門ゼミナールⅠ 専門ゼミナールⅡ 卒業研究 Aspects of Language and Culture ※ フューチャースキルズプロジェ クト 実践ビジネススキル 英語科教育法Ⅰ 英語科教育法Ⅲ 英語科教育法Ⅳ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	准教授	横野 成美 ＜令和7年4月＞ 修士（英語学）
		Listening Skills I Listening Skills II Discussion on Current Events I 通訳ガイド 会議通訳
基（主専）	准教授	リンチ ギャビン ＜令和7年4月＞ Masters degree in Education (英国)
		Speaking Skills I Speaking Skills II Writing Skills I Writing Skills II Speaking and Presentation I Writing for Research I 海外留学 I 海外留学 II Aspects of Language and Culture ※ TOEIC I TOEIC II TOEIC III TOEIC IV English in Tourism

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
基（主専）	教授	横野 成美 ＜令和7年4月＞ 修士（英語学）
		Listening Skills I Listening Skills II Discussion on Current Events I Aspects of Language and Culture※ 通訳ガイド 会議通訳 文芸翻訳
基（主専）	准教授	リンチ ギャビン ＜令和7年4月＞ Masters degree in Education (英国)
		Writing Skills I Writing Skills II 海外留学 I 海外留学 II Aspects of Language and Culture ※ TOEIC I TOEIC II TOEIC III TOEIC IV English in Tourism
基（主専）	准教授	嶋村 貢志 ＜令和7年4月＞ Doctor of Philosophy in Linguistics
		Grammar in Use I 海外留学 II 専門ゼミナール I Aspects of Language and Culture ※ Academic Writing 実践英文法 英語科教育法 II

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
基（主専）	助教	松本 大貴 ＜令和7年4月＞ 博士（人間・環境学）
		Listening Skills I Listening Skills II Discussion on Current Events I Aspects of Language and Culture ※ Academic Writing English Linguistics Media English English in the Age of AI
その他	教授 (学部長)	菊池 嘉晃 ＜令和7年4月＞ 博士（国際文化）
		教養ゼミナールA 教養ゼミナールB ワールドトピックス 言語文化論A 言語文化論B 海外留学 I リサーチリテラシー 多文化共生論 地域研究B※ 日本社会と文化※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		マークス ニコラス ＜令和7年4月＞ TESOL修士
基（主専）	講師	Speaking Skills I Speaking Skills II Writing for Research I Speaking and Presentation II Writing for Research II 専門ゼミナール I 専門ゼミナール II 卒業研究 Aspects of Language and Culture ※ Second Language Acquisition
基（主専）	助教	松本 大貴 ＜令和7年4月＞ 博士（人間・環境学）
		情報リテラシー I 情報リテラシー II 言語学 Listening Skills I Listening Skills II Speaking and Presentation I Aspects of Language and Culture ※ Academic Writing English Linguistics Practice in English Linguistics English in the Age of AI
その他	教授 (学部長)	菊池 嘉晃 ＜令和7年4月＞ 博士（国際文化）
		ワールドトピックス 言語文化論 A 言語文化論 B リサーチリテラシー 地域研究B※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	教授	齋藤 千恵 ＜令和7年4月＞ Doctor of Philosophy Anthropology (米国)
		教養ゼミナールA 教養ゼミナールB 比較文化※ 日本社会と文化※ 言語文化論A 言語文化論B 地域研究B※ 海外留学Ⅰ リサーチリテラシー
その他	教授	バイヤー アヒム ＜令和7年4月＞ Doktor der Philosophie (独国)
		教養ゼミナールA 教養ゼミナールB 宗教学Ⅰ 宗教学Ⅱ 比較文化※ 日本社会と文化※ 言語文化論A 言語文化論B 地域研究B※ 海外留学Ⅱ リサーチリテラシー
その他	教授	佐々木 康成 ＜令和7年4月＞ 博士（学術）
		教養の門 デザイン学A デザイン学B 情報学Ⅰ 情報学ⅡA 情報学ⅡB 心理学Ⅰ 心理学Ⅱ 心理学Ⅲ 情報リテラシーⅠ 情報リテラシーⅡ 教養の世界 教養ラボ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	教授	齋藤 千恵 ＜令和7年4月＞ Doctor of Philosophy Anthropology (米国)
		総合領域B※ 日本社会と文化※ 地域研究B※ リサーチリテラシー
その他	教授	バイヤー アヒム ＜令和7年4月＞ Doktor der Philosophie (独国)
		教養ゼミナールA 教養ゼミナールB 宗教学Ⅰ 宗教学Ⅱ 日本社会と文化※ 言語文化論A 言語文化論B 地域研究B※ 海外留学Ⅰ 海外留学Ⅱ リサーチリテラシー
その他	教授	佐々木 康成 ＜令和7年4月＞ 博士（学術）
		教養の門※ 総合領域A※ 総合領域B※ 総合領域C※ デザイン学A デザイン学B 情報学Ⅰ 情報学ⅡA 情報学ⅡB 心理学Ⅰ 心理学Ⅱ 心理学Ⅲ 情報リテラシーⅡ 教養の世界 教養ラボ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
その他	教授	辻 建一 <令和7年4月> 修士(英語英文学)※
		教養の門 英米文学Ⅰ 英米文学Ⅱ 英米文学Ⅲ 海外の文化と社会Ⅰ 海外の文化と社会Ⅱ 海外の文化と社会Ⅲ 教養の世界 教養ラボ Reading SkillsⅠ Reading SkillsⅡ Reading and VocabularyⅠ Reading and VocabularyⅡ English Literature
その他	教授	中村 朱美 <令和7年4月> 博士(学術)
		教養の門 日本語リテラシーA 日本語リテラシーB 日本文学A 日本語上級ⅠA 日本語上級ⅠB 日本語上級ⅠC 日本語上級ⅠD 日本語上級ⅡA 日本語上級ⅡB 教養の世界 教養ラボ
その他	教授	奥田 鉄人 <令和7年4月> 博士(医学)
		健康・スポーツ科学論A 健康・スポーツ科学論B
その他	教授	永坂 正夫 <令和7年4月> 博士(理学)
		環境学Ⅰ 環境学Ⅱ 自然科学概論Ⅰ 自然科学概論Ⅱ
その他	教授	馬場 治 <令和7年4月> 博士(文学)
		日本文学B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
その他	教授	辻 建一 <令和7年4月> 修士(英語英文学)※
		教養の門※ 英米文学Ⅰ 英米文学Ⅱ 英米文学Ⅲ 海外の文化と社会Ⅰ 海外の文化と社会Ⅱ 海外の文化と社会Ⅲ 教養の世界 教養ラボ Reading SkillsⅠ Reading SkillsⅡ Reading and VocabularyⅡ English Literature
その他	教授	中村 朱美 <令和7年4月> 博士(学術)
		教養の門※ 日本語リテラシーA 日本語リテラシーB 日本文学B 日本語上級ⅠA 日本語上級ⅠB 日本語上級ⅠC 日本語上級ⅠD 日本語上級ⅡA 日本語上級ⅡB 教養の世界 教養ラボ
その他	教授	奥田 鉄人 <令和7年4月> 博士(医学)
		健康・スポーツ科学論A 健康・スポーツ科学論B
その他	教授	永坂 正夫 <令和7年4月> 博士(理学)
		環境学Ⅰ 環境学Ⅱ 自然科学概論Ⅰ 自然科学概論Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	教授	曾我 千春 ＜令和7年4月＞ 博士(学術)
		日本国憲法Ⅰ 日本国憲法Ⅱ
その他	教授	中尾 公一 ＜令和7年4月＞ 博士(経営学)
		経営学
その他	教授	新谷 洋介 ＜令和8年4月＞ 修士(教育学)
		特別支援教育(中等)※
その他	教授	櫻井 貴志 ＜令和9年4月＞ 修士(教育学)
		教育方法論(中等)※
その他	教授	堀口 英則 ＜令和8年4月＞ 文学士
		チームビルディング プレゼンテーションスキルズ
その他	教授	山田 範子 ＜令和7年4月＞ 博士(教育学)
		メディア論
その他	教授	手塚 貴子 ＜令和7年4月＞ 修士(社会学)※
		生活科学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	教授	曾我 千春 ＜令和7年4月＞ 博士(学術)
		総合領域A※ 総合領域B※
その他	教授	中尾 公一 ＜令和7年4月＞ 博士(経営学)
		経営学
その他	教授	新谷 洋介 ＜令和7年4月＞ 修士(教育学)
		総合領域B※ 特別支援教育(中等)※
その他	教授	櫻井 貴志 ＜令和9年4月＞ 修士(教育学)
		教育方法論(中等)※
その他	教授	堀口 英則 ＜令和8年4月＞ 文学士
		チームビルディング プレゼンテーションスキルズ
その他	教授	山田 範子 ＜令和7年4月＞ 博士(教育学)
		総合領域B※ メディア論 日本文学A
その他	講師	手塚 貴子 ＜令和7年4月＞ 修士(社会学)※
		社会学A 社会学B 生活科学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	教授	本康 宏史 ＜令和7年4月＞ 博士（文学）
		歴史学Ⅰ 歴史学Ⅱ
その他	准教授	朝田 郁 ＜令和7年4月＞ 博士（地域研究）
		教養ゼミナールA 教養ゼミナールB 異文化コミュニケーション論Ⅰ 異文化コミュニケーション論Ⅱ 文化人類学Ⅰ 文化人類学Ⅱ 比較文化※ 日本社会と文化※ 言語文化論A 言語文化論B 地域研究B※ 海外留学Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	教授	本康 宏史 ＜令和7年4月＞ 博士（文学）
		総合領域A※ 歴史学Ⅰ 歴史学Ⅱ
その他	教授	大久保 英哲 ＜令和7年4月＞ 博士（学術）
		総合領域A※
その他	教授	新 広昭 ＜令和7年4月＞ 博士（社会環境科学）
		総合領域A※
その他	教授	大森 重宜 ＜令和7年4月＞ 博士（スポーツ科学）
		総合領域B※
その他	准教授	朝田 郁 ＜令和7年4月＞ 博士（地域研究）
		異文化コミュニケーション論Ⅰ 異文化コミュニケーション論Ⅱ 文化人類学Ⅰ 文化人類学Ⅱ 比較文化※ 言語文化論A 言語文化論B※ 地域研究B※ 海外留学Ⅰ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	准教授	桑野 萌 ＜令和7年4月＞ DEA博士（哲学）（西国）
		宗教学Ⅰ 宗教学Ⅱ 比較文化※ 日本社会と文化※ 言語文化論A 言語文化論B 地域研究B※ 海外留学Ⅰ 海外留学Ⅱ リサーチリテラシー
その他	准教授	坂井 紀公子 ＜令和7年4月＞ 博士（地域研究）
		人文地理学Ⅰ 人文地理学Ⅱ 比較文化※ 日本社会と文化※ 言語文化論A 言語文化論B 地域研究B※ 海外留学Ⅱ リサーチリテラシー
その他	准教授	高原 幸子 ＜令和7年4月＞ 修士（学術）※
		教養ゼミナールA 教養ゼミナールB 日本社会と文化※ 地域研究B※ 物質文化A 海外留学Ⅱ リサーチリテラシー

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	准教授	坂井 紀公子 ＜令和7年4月＞ 博士（地域研究）
		教養ゼミナールA 教養ゼミナールB 人文地理学Ⅰ 人文地理学Ⅱ 比較文化※ 地域研究B※ 海外留学Ⅰ リサーチリテラシー
その他	准教授	高原 幸子 ＜令和7年4月＞ 修士（学術）※
		日本社会と文化※ 地域研究B※ 物質文化A 海外留学Ⅱ リサーチリテラシー

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	准教授	永井 暁行 ＜令和7年4月＞ 博士（心理学）
		教養の門 教育学 教養の世界 教養ラボ 海外研修Ⅰ 海外研修Ⅱ 海外研修Ⅲ 海外研修Ⅳ 海外研修Ⅴ 海外研修Ⅵ 海外研修Ⅶ 海外研修Ⅷ 海外研修Ⅷ 海外研修Ⅸ 海外研修Ⅹ 教育心理学Ⅰ（中等） 教育心理学Ⅱ（中等） 生徒・進路指導論（中等） 教育相談の理論と方法Ⅰ（中 等） 教育相談の理論と方法Ⅱ（中 等） 情報教育の理論と方法Ⅰ（中 等） 情報教育の理論と方法Ⅱ（中 等）
その他	准教授	森 延江 ＜令和7年4月＞ Doctor of Philosophy Linguistics （米国）
		教養の門 音声学入門 教養の世界 教養ラボ
その他	准教授	土屋 仁美 ＜令和7年4月＞ 博士（法学）
		日本国憲法Ⅰ 日本国憲法Ⅱ
その他	准教授	牧野 耀 ＜令和7年4月＞ 博士（経営学）
		情報リテラシーⅠ 情報リテラシーⅡ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	教授	永井 暁行 ＜令和7年4月＞ 博士（心理学）
		教養の門※ 教養の世界 教養ラボ 海外研修Ⅰ 海外研修Ⅱ 海外研修Ⅲ 海外研修Ⅳ 海外研修Ⅴ 海外研修Ⅵ 海外研修Ⅶ 海外研修Ⅷ 海外研修Ⅷ 海外研修Ⅸ 海外研修Ⅹ 教育心理学Ⅰ（中等） 教育心理学Ⅱ（中等） 生徒・進路指導論（中等） 教育相談の理論と方法Ⅰ（中 等） 教育相談の理論と方法Ⅱ（中 等） 情報教育の理論と方法Ⅰ（中 等） 情報教育の理論と方法Ⅱ（中 等） 中等教育実習・事前事後の指導 ※ 中等教育実習Ⅰ※ 中等教育実習Ⅱ※
その他	准教授	森 延江 ＜令和7年4月＞ Doctor of Philosophy Linguistics （米国）
		教養の門※ 音声学入門 教養の世界 教養ラボ
その他	准教授	土屋 仁美 ＜令和7年4月＞ 博士（法学）
		総合領域A※ 日本国憲法Ⅰ 日本国憲法Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	准教授	渡邊 和道 ＜令和7年4月＞ 修士(法学)※
		法学
その他	准教授	張 森 ＜令和7年4月＞ 博士(経済学)
		経済学
その他	准教授	神崎(牧野) 淳子 ＜令和7年4月＞ 博士(経済学)
		キャリア入門Ⅰ キャリア入門Ⅱ キャリア実践演習
その他	准教授	塩田 耕平 ＜令和7年4月＞ 博士(スポーツ科学)
		スポーツとレジリエンスA スポーツとレジリエンスB
その他	准教授	芥川 元喜 ＜令和9年4月＞ 修士(教育学)※
		教育課程論Ⅰ(中等) 教育課程論Ⅱ(中等)
その他	准教授	北本 泰則 ＜令和7年4月＞ 商経学士
		キャリア入門Ⅰ キャリア入門Ⅱ
その他	准教授	ビセット ヘレン ＜令和8年4月＞ MASTER IN EDUCATION in the faculty of humanities (英国)
		Writing for Business

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	准教授	渡邊 和道 ＜令和7年4月＞ 修士(法学)※
		法学
その他	准教授	張 森 ＜令和7年4月＞ 博士(経済学)
		経済学
その他	教授	神崎(牧野) 淳子 ＜令和7年4月＞ 博士(経済学)
		総合領域A※ キャリア入門Ⅰ キャリア入門Ⅱ キャリア実践演習
その他	准教授	塩田 耕平 ＜令和7年4月＞ 博士(スポーツ科学)
		スポーツとレジリエンスA スポーツとレジリエンスB
その他	准教授	北本 泰則 ＜令和7年4月＞ 商経学士
		キャリア入門Ⅰ キャリア入門Ⅱ
その他	准教授	ビセット ヘレン ＜令和9年4月＞ MASTER IN EDUCATION in the faculty of humanities (英国)
		Writing for Business

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	准教授	島倉 晴信 ＜令和7年4月＞ 体育学士
		中等教育実習・事前事後の指導
その他	講師	門前 斐紀 ＜令和7年4月＞ 博士（教育学）
		教養ゼミナールA 教養ゼミナールB 道徳教育の理論と方法（中等） 教職実践演習（中等） 地域研究A 海外留学Ⅰ
その他	講師	大畠 菜穂子 ＜令和7年4月＞ 博士（教育学）
		教養の門 教養の世界 教養ラボ 教職入門（中等） 教育学概論Ⅰ（中等） 教育学概論Ⅱ（中等） 介護等体験（事前・事後の指導を含む） 教育方法論（中等）※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	准教授	島倉 晴信 ＜令和7年4月＞ 体育学士
		中等教育実習・事前事後の指導 ※ 中等教育実習Ⅰ※ 中等教育実習Ⅱ※
その他	准教授	中原 聖乃 ＜令和7年4月＞ 博士（学術）
		文化人類学Ⅰ 文化人類学Ⅱ 日本社会と文化 地域研究A 地域研究B※ 海外留学Ⅱ 多文化共生論
その他	講師	門前 斐紀 ＜令和7年4月＞ 博士（教育学）
		教養の門※ 倫理学Ⅰ 倫理学Ⅱ 倫理学Ⅲ 異文化コミュニケーション論Ⅰ 異文化コミュニケーション論Ⅱ 教育学 美学 教育学概論Ⅱ（中等） 道徳教育の理論と方法（中等） 教職実践演習（中等）※
その他	准教授	大畠 菜穂子 ＜令和7年4月＞ 博士（教育学）
		教養の門※ 教養の世界 教養ラボ 総合領域B※ 総合領域C※ 教職入門（中等） 教育学概論Ⅰ（中等） 介護等体験（事前・事後の指導を含む） 教育方法論（中等）※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	二口 聡 ＜令和7年4月＞ 修士（工学）
		教養の門 デザイン学A MDASHリテラシーⅠ MDASHリテラシーⅡ 統計学Ⅰ 統計学Ⅱ 統計学Ⅲ 教養数学A 教養数学B 情報リテラシーⅠ 情報リテラシーⅡ 教養の世界 教養ラボ
その他	講師	寺嶋 雅彦 ＜令和7年4月＞ 博士（文学）
		教養の門 総合領域A 総合領域B 自然科学概論Ⅰ 自然科学概論Ⅱ 哲学Ⅰ 哲学Ⅱ 哲学Ⅲ 美学 倫理学Ⅰ 倫理学Ⅱ 倫理学Ⅲ 情報リテラシーⅠ 情報リテラシーⅡ 教養の世界 教養ラボ
その他	講師	柳川 公三子 ＜令和7年4月＞ 修士（教育学）
		特別支援教育（中等）※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	准教授	二口 聡 ＜令和7年4月＞ 修士（工学）
		教養の門※ デザイン学A 統計学Ⅰ 統計学Ⅱ 統計学Ⅲ 教養数学A 教養数学B 情報リテラシーⅠ 情報リテラシーⅡ 教養の世界 教養ラボ
その他	准教授	寺嶋 雅彦 ＜令和7年4月＞ 博士（文学）
		教養の門※ 自然科学概論Ⅰ 自然科学概論Ⅱ 哲学Ⅰ 哲学Ⅱ 哲学Ⅲ 美学 倫理学Ⅰ 倫理学Ⅱ 情報リテラシーⅠ 情報リテラシーⅡ 教養の世界 教養ラボ
その他	講師	柳川 公三子 ＜令和7年4月＞ 修士（教育学）
		特別支援教育（中等）※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	山本 輝太郎 ＜令和7年4月＞ 博士 (情報コミュニケーション学)
		総合領域C 情報リテラシーⅠ 情報リテラシーⅡ MDASHリテラシーⅠ MDASHリテラシーⅡ
その他	講師	クラインズ ピーター ＜令和7年4月＞ M.A. Applied Linguistics and TESOL (英国)
		Speaking SkillsⅠ Speaking SkillsⅡ Writing SkillsⅠ Writing SkillsⅡ Speaking and PresentationⅠ Writing for ResearchⅠ Academic Writing
その他	講師	川村 義治 ＜令和8年4月＞ 博士(外国語教育学)
		Aspects of Language and Culture ※ Comparative Study of English and Japanese Cross-Cultural Understanding
その他	講師	ジェントリー レジナルド ＜令和8年4月＞ Master of Arts Second Language Studies (米国)
		Academic Writing
その他	講師	新田 哲夫 ＜令和8年4月＞ 修士(文学)
		音声学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	准教授	山本 輝太郎 ＜令和7年4月＞ 博士 (情報コミュニケーション学)
		教養の門※ 総合領域B※ 総合領域C 情報リテラシーⅡ MDASHリテラシーⅠ MDASHリテラシーⅡ コミュニケーション論Ⅰ コミュニケーション論Ⅱ
その他	講師	川村 義治 ＜令和8年4月＞ 博士(外国語教育学)
		Aspects of Language and Culture ※ Comparative Study of English and Japanese Cross-Cultural Understanding

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	ライヒェルト ルート ＜令和7年4月＞ Master of Arts in Advanced Japanese Studies (英国)
		ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ
その他	講師	伊藤 悟 ＜令和7年4月＞ 理学博士
		人文地理学Ⅰ 人文地理学Ⅱ
その他	講師	河合 一彦 ＜令和7年4月＞ 修士(水産学)
		情報リテラシーⅠ 情報リテラシーⅡ MDASHリテラシーⅠ MDASHリテラシーⅡ
その他	講師	館農 ユーリヤ ＜令和7年4月＞ 学士(書誌学) (ソビエト連邦)
		ロシア語Ⅰ ロシア語Ⅱ
その他	講師	丸山 敦 ＜令和7年4月＞ 修士(学術)
		歴史学Ⅰ 歴史学Ⅱ
その他	講師	金 萍 ＜令和7年4月＞ 博士(文学)
		中国語Ⅰ 中国語Ⅱ
その他	講師	佐藤 福子 ＜令和7年4月＞ Master of Arts Teaching Foreign Language (米国)
		Reading SkillsⅠ Reading SkillsⅡ Reading and VocabularyⅠ

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	ライヒェルト ルート ＜令和7年4月＞ Master of Arts in Advanced Japanese Studies (英国)
		ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ
その他	講師	伊藤 悟 ＜令和7年4月＞ 理学博士
		人文地理学Ⅰ 人文地理学Ⅱ
その他	講師	河合 一彦 ＜令和7年4月＞ 修士(水産学)
		情報リテラシーⅡ MDASHリテラシーⅠ MDASHリテラシーⅡ
その他	講師	館農 ユーリヤ ＜令和7年4月＞ 学士(書誌学) (ソビエト連邦)
		ロシア語Ⅰ ロシア語Ⅱ
その他	講師	丸山 敦 ＜令和7年4月＞ 修士(学術)
		歴史学Ⅰ 歴史学Ⅱ
その他	講師	金 萍 ＜令和7年4月＞ 博士(文学)
		中国語Ⅰ 中国語Ⅱ
その他	講師	佐藤 福子 ＜令和7年4月＞ Master of Arts Teaching Foreign Language (米国)
		Reading SkillsⅠ Reading SkillsⅡ Reading and VocabularyⅠ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	杉原 美佐子 ＜令和8年4月＞ 文学士
		キャリアプランニングⅠ キャリアプランニングⅡ 業界課題研究Ⅰ 業界課題研究Ⅱ
その他	講師	村中 達矢 ＜令和7年4月＞ 博士（文学）
		論理学Ⅰ 論理学Ⅱ
その他	講師	竹中 祐二 ＜令和7年4月＞ 博士（福祉社会学）
		社会学A 社会学B 教育社会学Ⅰ（中等） 教育社会学Ⅱ（中等）
その他	講師	中川 将志 ＜令和7年4月＞ 学士（情報学）
		コミュニケーション論Ⅰ コミュニケーション論Ⅱ 論理学Ⅰ 論理学Ⅱ デザイン学B
その他	講師	徳前 嘉子 ＜令和7年4月＞ 経済学士
		情報リテラシーⅠ 情報リテラシーⅡ MDASHリテラシーⅠ MDASHリテラシーⅡ
その他	講師	飯田 茂美 ＜令和7年4月＞ 短期大学情報処理学科卒
		情報リテラシーⅠ 情報リテラシーⅡ MDASHリテラシーⅠ MDASHリテラシーⅡ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	杉原 美佐子 ＜令和8年4月＞ 文学士
		キャリアプランニングⅠ キャリアプランニングⅡ 業界課題研究Ⅰ 業界課題研究Ⅱ
その他	講師	村中 達矢 ＜令和7年4月＞ 博士（文学）
		論理学Ⅰ 論理学Ⅱ
その他	講師	中川 将志 ＜令和7年4月＞ 学士（情報学）
		コミュニケーション論Ⅰ コミュニケーション論Ⅱ 論理学Ⅰ 論理学Ⅱ デザイン学A デザイン学B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	木村 高宏 ＜令和7年4月＞ 博士（政策科学）
		政治学Ⅰ 政治学Ⅱ
その他	講師	崔 チョンア ＜令和7年4月＞ 博士（理学）
		韓国語Ⅰ 韓国語Ⅱ
その他	講師	ロペス マシア エミリオ ＜令和7年4月＞ Certificado de Aptitud Pedagógica (西国)
		スペイン語Ⅰ スペイン語Ⅱ
その他	講師	池田 幸應 ＜令和10年4月＞ 教育学修士
		教職実践演習（中等）
その他	講師	岡本 泰弘 ＜令和9年4月＞ 博士（医学）
		特別活動及び総合的な学習の時間の指導法（中等）
その他	講師	青木 賢人 ＜令和7年4月＞
		自然地理学Ⅰ 自然地理学Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	木村 高宏 ＜令和7年4月＞ 博士（政策科学）
		政治学Ⅰ 政治学Ⅱ
その他	講師	ロペス マシア エミリオ ＜令和7年4月＞ Certificado de Aptitud Pedagógica (西国)
		スペイン語Ⅰ スペイン語Ⅱ
その他	講師	池田 幸應 ＜令和10年4月＞ 教育学修士
		教職実践演習（中等）
その他	講師	岡本 泰弘 ＜令和9年4月＞ 博士（医学）
		特別活動及び総合的な学習の時間の指導法（中等）

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	ファリス シノン ＜令和7年4月＞ 修士（国際コミュニケーション学）
		Speaking Skills I Speaking Skills II Writing Skills I Writing Skills II Discussion on Current Events I Writing for Research I 海外留学 I Academic Writing Interpersonal Communication I Interpersonal Communication II
その他	講師	ムーア ホーリー ＜令和7年4月＞ Master of Arts
		Speaking Skills I Speaking Skills II Writing Skills I Writing Skills II Speaking and Presentation I Writing for Research I
その他	講師	喜田 いくみ ＜令和7年4月＞ 修士（文学）
		Speaking and Presentation I
その他	講師	松倉 昂平 ＜令和8年4月＞ 博士（文学）
		音声学
その他	講師	佐藤 将 ＜令和7年4月＞ 博士（学術）
		総合領域B※ 自然地理学 I 自然地理学 II
その他	講師	連 桃季恵 ＜令和7年4月＞ 修士（教育学）
		総合領域B※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	岡室 憲明 ＜令和7年4月＞ 修士（体育学）
		ウェルビーイングと健康A ウェルビーイングと健康B
その他	講師	大谷 崇 ＜令和7年4月＞ 修士（文学）
		哲学Ⅰ 哲学Ⅱ
その他	講師	齋藤 堯仁 ＜令和7年4月＞ 博士（教育学）
		社会学A 社会学B
その他	講師	田中 千晶 ＜令和7年4月＞ 博士（人間社会環境学）
		統計学Ⅰ 統計学Ⅱ
その他	講師	宋 有宰 ＜令和7年4月＞ 文学博士
		韓国語Ⅰ 韓国語Ⅱ
その他	講師	大竹口 麻里 ＜令和7年4月＞ 修士（外国語としてのフランス 語教育）
		フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ
その他	講師	竹村 哲 ＜令和7年4月＞ 博士（工学）
		教育社会学Ⅰ（中等） 教育社会学Ⅱ（中等） 教職実践演習（中等）※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	板倉 栄一郎 ＜令和7年4月＞ 修士（教育学）
		教育課程論Ⅰ（中等） 教育課程論Ⅱ（中等）
その他	講師	小西 賢吾 ＜令和7年4月＞ 博士（人間・環境学）
		比較文化※
その他	講師	佐々木 雅幸 ＜令和7年4月＞ 博士（経済学）
		総合領域A※
その他	講師	田中 純一 ＜令和7年4月＞ 博士（社会環境学）
		総合領域A※

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入）
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号（その2の1）（その2の2）（その2の3）に準じて作成
なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準等（令和4年10月1日施行前）に基づき、対象改正前様式第3号（その2の1）に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て（基幹教員（大学院の研究科又は研究科）その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字**としてください。
 - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 - ・ 記載は、設置認可時又は届出時における「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」に記
 - ・ 改正後大学設置基準等（令和4年10月1日施行）の適用以降については、主要授業科目にあたる「拒
 - ・ 教員がサバティカル等で不在の期間がある場合、その期間（年月日）を上段「学位」の下へ記入してください
 - ・ 不要な年度（令和6年度開設であれば令和5年度以前）の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授業科目名」の上段に変更

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和7年度】

- ・田中富士美教授（基幹教員）の担当授業科目を変更。
- ・岡本芳和教授退職により、教授（基幹教員）の取り消し。
- ・フローダウェイ リック教授退職により、教授（基幹教員）の取り消し。
- ・前田昌寛准教授（基幹教員）を教授（基幹教員）に変更、及び担当授業科目を変更。
- ・横野成美准教授を教授（基幹教員）に変更、及び(高)を追記、及び担当授業科目を変更。
- ・リンチ ギャビン准教授（基幹教員）の担当授業科目を変更。
- ・嶋村真志准教授を准教授（基幹教員）に追加。
- ・マークス ニコラス講師を講師（基幹教員）に追加。
- ・松本大貴助教（基幹教員）の担当授業科目を変更。
- ・菊池嘉見教授の担当授業科目を変更。
- ・齋藤千恵教授の担当授業科目を変更。
- ・バイヤー アヒム教授の担当授業科目を変更。
- ・佐々木康成教授の担当授業科目を変更。
- ・「教養の門」をオムニバス形式に変更。
- ・辻健一教授の担当授業科目を変更。
- ・中村朱美教授の担当授業科目を変更。
- ・馬場治教授退職により、教授の取り消し。
- ・曾我千春教授の担当授業科目を変更。
- ・新谷洋介教授の担当授業科目を変更。
- ・山田範子教授の担当授業科目を変更。
- ・手塚貴子教授を講師に変更、及び担当授業科目を変更。
- ・本康教授の担当授業科目を変更。
- ・「総合領域A、B、C」がオムニバス形式へ変更のため、大久保英哲教授、新広昭教授、大森重宜教授を教授に、連桃季恵講師、佐々木雅幸講師、田中純一講師を講師に追加。
- ・朝田郁准教授の担当授業科目を変更。
- ・栗野准教授退職により、准教授の取り消し。
- ・坂井紀公子准教授の担当授業科目を変更。
- ・高原幸子准教授の担当授業科目を変更。
- ・永井暁行准教授を教授に変更、及び担当授業科目を変更。
- ・土屋に美准教授の担当授業科目を変更。
- ・牧野耀准教授退職により、准教授の取り消し。
- ・神崎（牧野）淳子准教授を教授に変更、及び担当授業科目を変更。
- ・芥川元喜准教授の取り消し。
- ・ビセツ ヘレン准教授の担当科目の配当年次に併せて、就任（予定）年月を修正。
- ・島倉晴信准教授の担当授業科目を変更。
- ・中原聖乃准教授を追加。
- ・門前斐紀講師の担当授業科目を変更。
- ・大畠葉穂子講師を准教授に変更、及び担当授業科目を変更。
- ・二口聡講師を准教授に変更、及び担当授業科目を変更。
- ・寺嶋雅彦講師を准教授に変更、及び担当授業科目を変更。
- ・山本輝太郎講師を准教授に変更、及び担当授業科目を変更。
- ・クラインズ ビーター講師退職により、講師の取り消し。
- ・ジェントリー レジナルド講師の取り消し。
- ・新田哲夫講師の取り消し。
- ・河合一彦講師の担当授業科目を変更。
- ・竹中祐二講師の取り消し。
- ・中川将志講師の担当授業科目を変更。
- ・徳前嘉子講師の取り消し。
- ・飯田茂美講師の取り消し。
- ・崔 チョンア講師の取り消し。
- ・青木賢人講師の取り消し。
- ・新規の授業担当者として、ファリス シノン講師、ムーア ホーリー講師、喜田いくみ講師、松倉昂平講師、佐藤将講師、岡室憲明講師、大谷崇講師、齋藤亮仁講師、田中千晶講師、宋有宰講師、大竹口麻里講師、竹村哲講師、板倉栄一郎講師、小西賢吾講師を講師に追加。

(注)・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。

- ・ **認可で設置された学部等の基幹（専任）教員を変更する場合は**、当該基幹（専任）教員が授業を開始する前に必ず「基幹（専任）教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（A C教員審査）を受けてください。

原則としてA C教員審査を受けずに基幹（専任）教員として授業等を担当することは出来ません。

なお、改正前大学設置基準等に基づいて認可を受けて設置された学部等が、改正後大学設置基準等への適用のため、大学が基幹教員の要件を満たすと判断した

- 「専任教員」を「基幹教員」とする場合は、A C教員審査を受審する必要はない扱いとしています。（改正後大学設置基準等の適用にあたり、「基幹教員」の担当授業科目を追加する場合、「基幹教員」の担当授業科目の内容を変更するなど、A C教員審査の受審を求めている事由が発生する場合は、A C教員審査を受審する必要があります。）
- ・ A C教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。

なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。

- ・ 不要な年度（令和6年度開設であれば令和5年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 基幹教員数等

(注)・計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織（学科連係課程実施学科）の設置」の場合、大学設置基準第四十一条第二項（短期大学設置基準第二条の二）に基づく「連係協力学部等（連係協力学科）」の基幹教員数について、「(2) -① 設置基準上の必要基幹教員数」及び「(2) -② 基幹教員等数【大学】」を連係協力学部等（連係協力学科）ごとに別ファイルで作成してください。

(2) -① 設置基準上の必要基幹教員数

完成年度時における 設置基準上の必要基 幹教員数（α）	うち、完成年度時 における設置基準上の 必要教授数	うち、完成年度時における 設置基準上の専ら当該学部 等の教員研究に従事する必 要基幹教員数（α）の4 分の3以上）
5	3	6
名	名	名

(注)・大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第九項により算出される基幹教員数を記入してください。

- ・高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数」として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2) -② 基幹教員等数【大学・高専】

設置時の計画							現在（報告時）の状況						
教 授	准教授	講 師	助 教	計（A）	うち専ら当該学部等の 教育研究に従事する者 （「基（主専）」及び 「基（専）」の計 （A'）	助手（A''）	教 授	准教授	講 師	助 教	計（B）	うち専ら当該学部等の 教育研究に従事する者 （「基（主専）」及び 「基（専）」の計 （B'）	助手（B''）
3	2	0	1	6	6	0	3	2	1	1	7	7	0
(3)	(2)	(1)	(1)	(7)	(7)	(0)							
現在（報告時）の完成年度時の状況							現在（報告時）の完成年度時の計画						
教 授	准教授	講 師	助 教	計（C）	うち専ら当該学部等の 教育研究に従事する者 （「基（主専）」及び 「基（専）」の計 （C'）	助手（C''）	教 授	准教授	講 師	助 教	計（D）	うち専ら当該学部等の 教育研究に従事する者 （「基（主専）」及び 「基（専）」の計 （D'）	助手（D''）
3	2	1	1	7	7	0	3	2	1	1	7	7	0
[0]	[0]	[1]	[0]	[1]	[1]	[0]	[0]	[0]	[1]	[0]	[1]	[1]	[0]

(注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。

高等専門学校の場合、「うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計）」欄は、

「うち専ら当該高等専門学校の教育に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計）」として記入してください。

なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準（令和4年10月1日施行前）に基づき、対象学部等を設置している場合、

「設置時の計画」欄は「設置時の計画（改正前大学設置基準等）」とした上で、「専任教員」及び「助手」の人数を記入してください。

また、「計（A）」の「うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計）（A'）」欄には「－」を記入してください。

・「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。

・「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を要済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、

[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

・「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、

[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) -③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 （B））の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 （C））の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、

及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている

教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。

・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、

「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) -④ 設置時の計画に対する教員充足率

【基幹教員全体】

現在（報告時）の完成年度時の状況（C）
設置時の計画（A）
$$= \frac{7}{6} = 116.66\%$$

【基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者】

現在（報告時）の完成年度時の状況（C'）
設置時の計画（A'）
$$= \frac{7}{6} = 116.66\%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) -⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数
現在（報告時）の状況（B）
$$= \frac{0}{7} = 0\%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) -⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

現在（報告時）の完成年度時の状況（C'）
設置時の計画（A'）
$$= \frac{0}{0} = -\%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 基幹（専任）教員辞任等の理由

(3)－① 基幹（専任）教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	基幹（専任）教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
1	教授	岡本 芳和	R6.3	選択	Writing for Research I	①	R6.3に他大学へ転出のため退職（7）			
				選択	海外留学 I	①				
				選択	Aspects of Language and Culture※	①				
				選択	実践英文法	①				
				選択	Practice in English Linguistics	①				
				選択	Second Language Acquisition	①				
				選択	英語科教育法Ⅳ	①				
2	教授	ブローダウェイ リック	R6.9	選択	教養の門※	②	R6.9に一身上の都合により退職（7）			
				選択	教養の世界	②				
				選択	教養ラボ	②				
				選択	言語学	①				
				選択	フランス語Ⅰ	②				
				選択	フランス語Ⅱ	②				
				選択	Speaking SkillsⅠ	①				
				選択	Speaking SkillsⅡ	①				
				選択	Writing SkillsⅠ	②				
				選択	Writing SkillsⅡ	②				
				選択	Speaking and PresentationⅠ	①				
				選択	Writing for ResearchⅠ	①				
				選択	Speaking and PresentationⅡ	①				
				選択	Writing for ResearchⅡ	①				
				必修	専門ゼミナールⅠ	①				
				必修	専門ゼミナールⅡ	①				
				必修	卒業研究	①				
				選択	Aspects of Language and Culture※	①				
				必修	Academic Writing	①				
				選択	文芸翻訳	①				
選択	Interpersonal CommunicationⅠ	②								
選択	Interpersonal CommunicationⅡ	②								
合計（D）					後任補充状況の集計（E）					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）		
2	人	必修	4	科目	必修	4	科目	必修	0	科目
		選択	25	科目	選択	16	科目	選択	9	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	29	科目	計	20	科目	計	9	科目

(注)・認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての基幹（専任）教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。

・「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。

就任した後に辞任した教員は、以下「(3)－②基幹（専任）教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。

・昨年度の報告後から今年度の報告時まで基幹（専任）教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）」の理由に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。

・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」
- ・基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼担教員）が担当する（している）場合は「②」
- ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3)－② 基幹（専任）教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	基幹（専任）教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
合 計（F）					後任補充状況の集計（G）					
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）	③の合計数（c）		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(注)・一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての基幹（専任）教員について、記入してください。

（学年進行中に基幹教員の要件を満たさなくなったことにより、基幹教員でなくなった教員についても記入してください。）

・昨年度の報告後から今年度の報告時まで基幹（専任）教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。

・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」
- ・基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼担教員）が担当する（している）場合は「②」
- ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3)－③ 上記(3)－① ・ (3)－② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)							
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)			
2	人	必修	4 科目	必修	4 科目	必修	0 科目	必修	0 科目		
		選択	25 科目	選択	16 科目	選択	9 科目	選択	0 科目		
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目		
		計	29 科目	計	20 科目	計	9 科目	計	0 科目		

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-(3)合計(D)+(F)}{(2)-(2)設置時の計画(A)} = \frac{2}{6} = 33.33\%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和6年度報告書から、新たに辞任等した基幹（専任）教員等の状況

人

(注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した基幹（専任）教員数の合計数を記載してください。

・令和7年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した基幹（専任）教員に対する後任補充状況

番 号	職 位	基幹（専任）教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
合 計				後任補充状況の集計						
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注)・ 定年により退職した全ての基幹（専任）教員について、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに基幹（専任）教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」
・基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼担教員）が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 基幹（専任）教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

上記2名の就任辞退に伴い、嶋村准教授およびマークス講師を採用し、横野教授が基幹教員に就任している。3名とも研究の専門性については辞退者と同等であり、交代について学生が不利益を被ることはないと考えている。
 学生への周知は、交代となった該当科目の履修学生をはじめ、大学ホームページの教員紹介などで昨年度から行っており、学生からの理解は得られている状況である。

- (注)・ 上記（3）の基幹（専任）教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時 (令和6年)	該当なし		

(注)・「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおり記載してください。

【令和6年度報告書から記載内容に変更がある場合】

令和6年度報告書の記載内容を転記し文末に「（６）」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（７）」と記載してください。

【令和6年度報告書から記載内容に変更がない場合】

令和6年度報告書の記載内容を転記し文末に「（６）（７）」と記載してください。

【令和7年度から新たに調査対象となった学科等又は令和6年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（７）」と記載してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。
その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<人文学部 国際英語学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
①施設・設備 図書 179,623冊 図書外国書 27,114冊 学術誌の電子ジャーナル 557種 学術誌の電子ジャーナルの外国書 556種	2024年に大学図書館コンソーシアム連合（JUSTICE）に加盟したことで、大規模な電子ジャーナルコレクションが購入可能となった。また、学内のどこからでも容易に海外研究書を閲覧することができ、より一層の洋雑誌の利用促進をはかった。

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制 a 委員会の設置状況 金沢星稜大学及び金沢星稜大学女子短期大学部FD・SD委員会 b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 不定期ではあるが、委員長（副学長）が招集して開催している。FD活動の進捗は、委員長から常任部会（大学の運営及び教育研究を円滑に行うために必要な連絡及び調整並びに協議を行う）に報告があり、必要に応じて協議を行っている。 c 委員会の審議事項等 (1) 授業内容および方法の改善とその水準向上のための方策に関する事項 (2) 教育研究活動等の適切かつ効果的な運営を行うための方策に関する事項 (3) 研修会等の実施および諸方策の支援に関する事項 (4) 各学部および部局等が行うFD・SDの支援に関する事項 (5) その他FD・SDに必要な連絡・調整に関する事項 ② 実施状況 a 実施内容 ・各学科ごとの現状分析（教育内容、成果、卒業後の進路、地域連携、STEAM教育） ・課題の整理 ・教育内容やSTEAM教育、グローバル化や学生支援など横断的な視点で改善策の提示 ・強みの可視化 b 実施方法 各学科ごとに学科長が、中心となり開催しており、事務職員も希望する学科のFD活動に出席している。 c 開催状況（教員の参加状況含む） すべての教育職員が参加可能となるように基本的には、第2水曜日の4限目（14時35分から90分間）をFD活動の実施日と定めており、原則全員参加としている。 d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 昨年度までは、学部横断型の会議体を定め実施していたが、今年度の課題に即して学科単位によるFD活動を展開することになっている。また、学科間で他の学科の協議等の内容を共有して、自学科にも取り込むことで、学科の可能性を広げる工夫を行っている。 ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況 a 実施の有無及び実施時期 実施有 年4回 5月下旬―6月上旬、7月下旬―8月上旬、11月初旬―11月下旬、1月中旬―2月上旬 b 教員や学生への公開状況、方法等 教員への公開、LMS上にて公開	
---	--

(注)・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

学校法人稲置学園自己点検・自己評価委員会規程に基づき、教育・研究、組織・運営及び施設設備等の事項について、自己点検・評価を実施する。本学における自己点検・評価は、自己点検評価部会が主導のもと、目標を達成するために学長や各部長や委員長が執筆を担当し、学外の外部有識者2名における外部評価を取り入れ実施する。

② 自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

・令和6年8月末日 公表予定

b 公表方法

・本学Webサイト上で公開

③ 認証評価を受ける計画

(専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。)

・令和7年に日本高等教育評価機構にて認証評価を受ける。

(注)・設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書(令和7年度)

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

≪ aで「有」の場合 ≫

b 公表(予定)時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2~3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他()]

≪ aで公表「無」の場合 ≫

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトにて公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。